



使用する前に

この章では、Cisco Digital Network Architecture (DNA) Spaces の概要、その機能、プロセスフロー、ライセンスパッケージ、および Cisco DNA Spaces のシステム要件について説明します。

この章は、次の項で構成されています。

- [Cisco DNA Spaces の概要](#) (1 ページ)
- [Cisco DNA Spaces ダッシュボード](#) (2 ページ)
- [Cisco DNA Spaces の機能](#) (3 ページ)
- [Cisco DNA Spaces ライセンスパッケージ](#) (9 ページ)
- [Cisco DNA Spaces のプロセスフロー](#) (9 ページ)
- [Cisco DNA Spaces のシングルサインオン](#) (9 ページ)
- [Cisco DNA Spaces の使用を開始する](#) (11 ページ)
- [Cisco DNA Spaces のナビゲーション](#) (13 ページ)
- [Cisco DNA Spaces のアイドルタイムアウト](#) (14 ページ)
- [Cisco Smart License](#) (14 ページ)
- [Cisco DNA Spaces ドキュメント](#) (19 ページ)

Cisco DNA Spaces の概要

Cisco DNA Spaces は、物理的なビジネス拠点にいる訪問者を把握し、訪問者に接続し関与することを可能にするマルチチャネルエンゲージメントプラットフォームです。小売、製造、サービス業、医療、教育、金融、エンタープライズワークスペースなど、さまざまな業種のビジネスを対象としています。Cisco DNA Spaces は、施設内の資産を監視および管理するためのソリューションも提供します。

Cisco DNA Spaces の主な機能は次のとおりです。

- 訪問者の関与、資産とリソース、およびビーコンを管理するための共通プラットフォーム。
- 1 つの設定セクションですべてのプラットフォーム設定の完了が可能。
- SSID に接続している顧客へのプロモーションやオファーの表示をサポート。

- ルールを使用した、ロケーション、タグ、訪問頻度、滞在時間などに基づく、顧客に対する個別の、またはグループとしてのターゲティングをサポート。
- 複数のワイヤレスネットワークとの同時連携をサポート。
- ビジネスパフォーマンスの表示に向けたプロビジョニング。
- キャプティブポータルを作成し、ルールに基づいて顧客に表示するためのアプリ。
- 顧客がお客様の事業施設内にいるときに顧客に通知を送信するアプリ。
- 顧客がお客様の事業施設の近くにいるときに従業員に知らせるアプリ。
- 顧客をグループ化し、タグを作成するアプリ。
- サードパーティのパートナーアプリを追加するためのプロビジョニング。
- ワイヤレスネットワークと同じ構造でのロケーション階層のインポートをサポート。
- さまざまな権限とロケーションアクセス権を持つ Cisco DNA Spaces ユーザーを作成するためのプロビジョニング。
- Cisco DNA Spaces とそのアプリおよび遅延のパフォーマンスステータスを監視するためのプロビジョニング。

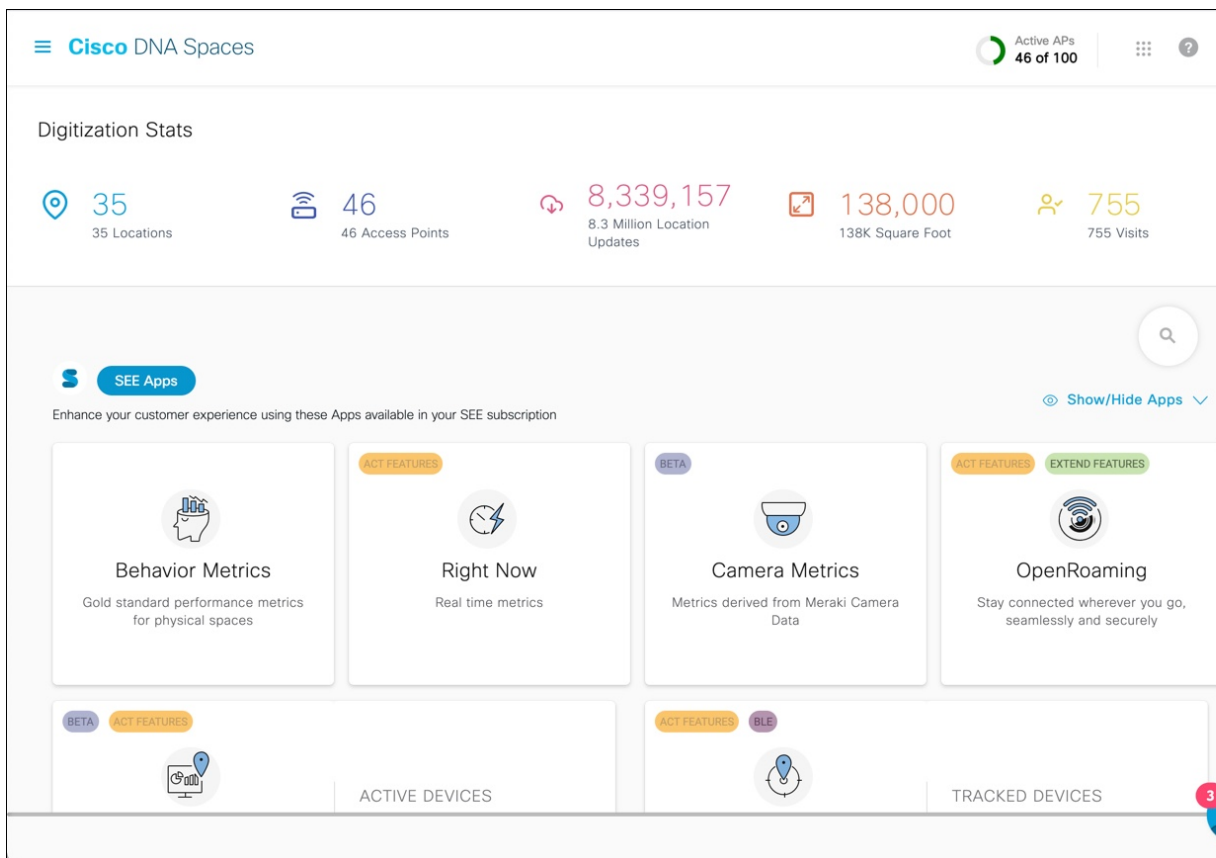
ABC ショッピング モールでは、無料の Wi-Fi を利用するために、顧客はモールに入ってから SSID に接続する必要があります。ABC は、顧客の購入履歴や訪問頻度に基づき、Wi-Fi に接続する各顧客にパーソナライズされたエクスペリエンスを提供したいと考えました。Cisco DNA Spaces をインストールすることで、ABC は、キャプティブポータルを介して Wi-Fi ユーザーに関する詳細を収集し、この詳細を利用して、利用可能なオファーやサービスについての通知を顧客に送信することが可能になりました。Wi-Fi に一度接続された顧客はキャプティブポータルに誘導され、ここで、名前、電子メールアドレス、電話番号などの詳細を入力して登録するオプションが示されます。キャプチャされたこの情報は、Cisco DNA Spaces に保存されます。顧客がモールを再び訪問すると、SMS、電子メールを使用して顧客にプロモーションオファーが送信されます。

また Cisco DNA Spaces は、顧客のアクティビティについて、従業員などのビジネスユーザーに通知するように設定することもできます。たとえば、Cisco DNA Spaces ダッシュボードで、リピート客をプラチナメンバーとして特定しタグ付けすることができます。プラチナの顧客がレストランに入り、顧客のデバイスがワイヤレスアクセスポイントによって検出されると、レストランの担当者がデバイスでアラートを受信します。これにより、顧客にパーソナライズされたサービスを提供することができます。

Cisco DNA Spaces ダッシュボード

次の図に、Cisco DNA Spaces にログインした後に表示されるダッシュボードの外観を示します。

図 1: Cisco DNA Spaces ダッシュボード



Cisco DNA Spaces の機能

Cisco DNA Spaces の主な機能は次のとおりです。

デジタル化に関する統計情報

Cisco DNA Spaces ダッシュボードのホームページでは、次の累積統計値がページの上部に表示されます。[Digitization Stats] セクションを 1 つの行として表示できます。

- [Locations] : さまざまなワイヤレスネットワーク用に Cisco DNA Spaces で設定されたネットワークロケーションの合計。
- [Access Points] : Cisco DNA Spaces に追加された AP の総数。
- [Location Updates] : Cisco DNA Spaces の導入日以降にワイヤレスネットワークから受信したロケーションアップデートの総数。
- [Square Foot] : [Location Hierarchy] の [Location Info] オプションでネットワークロケーションに対して設定された総面積。ただし、[Location Hierarchy] でネットワークロケーション

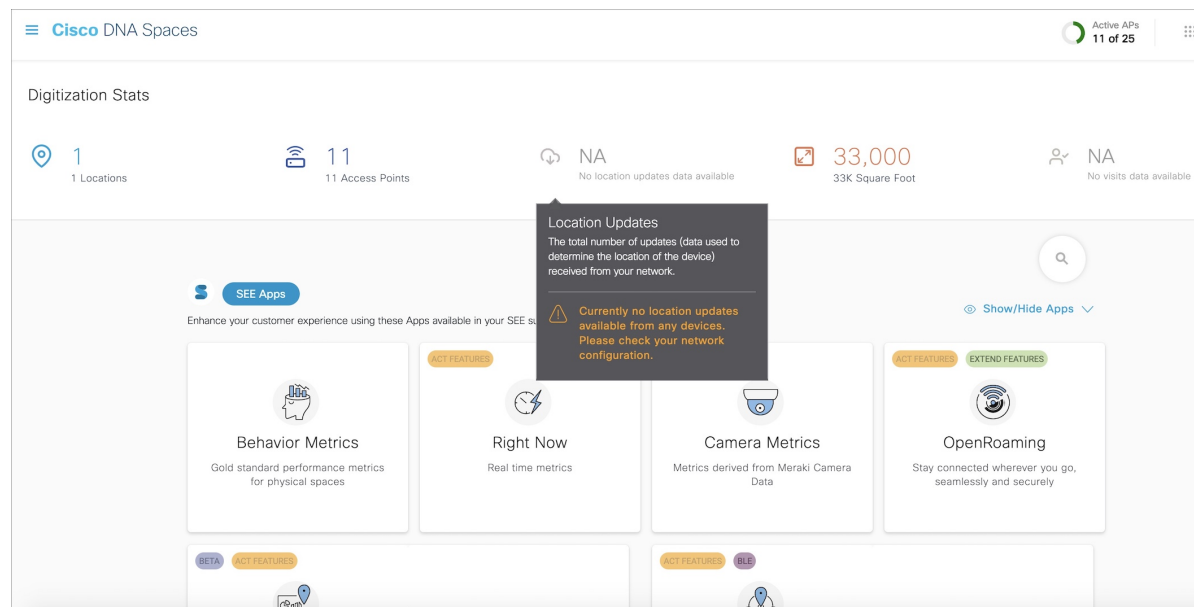
に対して総面積が設定されていない場合、[Square Foot] の値は AP の数に基づいて表示されます。

- [Visits] : Cisco DNA Spaces の導入日以降にビジネス拠点で発生した訪問の総数（ユニークビジターの繰り返しの訪問を含む）。



(注)

- ロケーション階層からロケーションが削除されても、対応する [Location Updates] と [Visits] のカウンター値は引き続き [Digitization Stats] セクションに保持されます。
- カウンターをクリックするか、その上にカーソルを合わせると、対応する情報を含むツールチップが表示されます。
- カウンターのデータが利用できない場合、次の図に示すように、ツールチップに警告メッセージが表示されます。



機能

Cisco DNA Spaces は、さまざまなタスク指向のアプリを提供します。パートナーアプリを Cisco DNA Spaces に追加することもできます。Cisco DNA Spaces は次のアプリを提供します。

キャプティブポータルアプリ

キャプティブポータルアプリを使用すると、キャプティブポータルルールに基づいて、キャプティブポータルを作成して顧客に表示できます。

キャプティブポータル

キャプティブポータルとは、特定のロケーションから固有の Wi-Fi ネットワーク ID (SSID) で Wi-Fi にアクセスするユーザに表示されるポータルのことです。このキャプティブポータルの顧客は、お客様のビジネス拠点から Wi-Fi に接続するインターネットユーザーです。

Cisco DNA Spaces で提供されるさまざまなポータルモジュールを使用して、ウェルカムメッセージ、通知、プロモーション、アプリ、ビデオ、ヘルプラインなどのさまざまな機能でポータルを強化できます。ポータルの作成と管理の詳細については、「ポータルの作成と管理」セクションを参照してください。

Captive Portal Rule

Cisco DNA Spaces では、さまざまなパラメータに基づいてキャプティブポータルを表示するキャプティブポータルルールを作成できます。ロケーション、顧客の訪問回数、顧客の種類、顧客のアプリケーションステータスなどに基づいてキャプティブポータルを表示するように設定できます。

このルールを使用して、顧客のインターネットプロビジョニングを管理し、顧客情報を外部 API に送信することもできます。

詳細については、「キャプティブポータルルール」のセクションを参照してください。

エンゲージメントアプリ

Cisco DNA Spaces は Wi-Fi ベースのビーコンとしても機能し、Wi-Fi 対応デバイスを持つ顧客が構内および付近にいるときに、顧客に対して適切な通知を送信することを可能にします。エンゲージメントアプリを使用すると、個々の顧客に異なるプロモーションおよびオファーを提供することができます。顧客が使用可能なオファーやメンバーシップの詳細について顧客に通知することができます。また、特定の店舗でのみオファーを提供するように設定することもできます。

エンゲージメントルールアプリを使用して通知を送信するように設定できます。Cisco DNA Spaces を使用すると、顧客が Wi-Fi に接続したときに通知を送信できます。

Cisco DNA Spaces を使用すると、次の方法で通知を送信できます。

- SMS
- 電子メール
- API 通知
- Cisco Webex Teams

詳細については、「[エンゲージメントルールの作成](#)」のセクションを参照してください。

ロケーションペルソナアプリ

Cisco DNA Spaces では、顧客をグループ化してタグを作成できます。ロケーションペルソナアプリを使用してタグを作成できます。ロケーションペルソナアプリを使用すると、既存のタグにさらに顧客を追加したり、既存のタグから特定の顧客を削除したりすることもできます。タ

グの作成の詳細については、「ロケーションペルソナアプリを使用したタグの作成または変更」のセクションを参照してください。

行動メトリクス、Right Now、カメラメトリクスアプリ

行動メトリクス

行動メトリックアプリを使用すると、ビジネスのパフォーマンスについての知見を提供するさまざまなレポートを表示できます。自社のパフォーマンスを業界のパフォーマンスと比較できます。デフォルトでは、レポートにはCisco DNA Spacesをインストールした日からのデータが含まれます。レポートは、アクセスできるすべてのロケーションについて表示されます。特定のロケーション、月、またはタグのレポートを表示するようにフィルタリングできます。行動メトリクスレポートの詳細については、このガイドの「行動メトリクス」の章を参照してください。

Right Now

Right Now アプリは、現在あなたのロケーションにいる訪問者の詳細を示す Right Now レポートを提供します。Right Now アプリを使用して、密度ルールを作成し、訪問者の密度やビジネスロケーションのデバイス数に基づいて、従業員などのビジネスユーザーに通知を送信することもできます。Right Now レポートの詳細については、このガイドの「Right Now」の章を参照してください。

カメラメトリック

カメラメトリクスアプリを使用すると、Merakiカメラを使用してキャプチャしたデータに基づくメトリクスレポートを表示できます。このレポートは特定の月に表示されます。カメラメトリクスの詳細については、このガイドの「カメラメトリクス」の章を参照してください。

ロケーション解析アプリと影響分析アプリ

ロケーション解析アプリを使用すると、ロケーション訪問者のレポートを表示できます。影響分析は、行ったアクションの効果を分析の前後に基づいて測定する方法です。これらのアプリの詳細については、それぞれの章を参照してください。

Asset Locator、Detect & Locate、Proximity Reporting の各アプリケーションおよび IoT サービス

資産ロケータ

Asset Locator アプリにより、資産の監視、および資産、センサー、アラートシステム、および運用ワークフローのパフォーマンス最適化が可能になります。このアプリでは、タグとセンサーが一定量提供され、接続運用を継続的に統合、監視、および管理できます。クラウドベースのインターフェースを使用して、各資産のプロファイル、カテゴリ、および所有者を定義できます。ビジネスルールを確立して、資産とセンサーのワークフローおよび求められる動作範囲を定義できます。Asset Locator アプリの詳細については、『[Cisco DNA Spaces Asset Locator Configuration Guide](#)』を参照してください。

検出と位置特定

Cisco DNA Spaces の検出と位置特定により、展開内の Wi-Fi デバイスの現在および過去の位置を表示できます。追跡されたデバイスの数は、[Detect and Locate] アプリケーションタイトルに表示されます。Detect and Locate アプリの詳細については、『[Cisco DNA Spaces Detect and Locate Configuration Guide](#)』を参照してください。

プロキシミティレポート

Proximity Reporting アプリを使用して、プロキシミティレポートを生成できます。

Proximity Reporting アプリは、COVID-19 のパンデミックの最中に職場に戻る従業員のために、職場の管理者が安全な環境を作成することを支援します。レポート対象ユーザー（監視対象の人）のワイヤレスデバイスは、ワイヤレスネットワークに関連付けられ、物理的な場所にマッピングされます。Proximity Reporting アプリにより、COVID-19 の検査で陽性となった人の動きを追跡できます。作成されたプロキシミティレポートの数が、[Proximity Reporting] アプリケーションタイトルに表示されます。Proximity Reporting アプリの詳細については、『[Cisco DNA Spaces Proximity Reporting Configuration Guide](#)』を参照してください。

IoT サービス

Cisco DNA Spaces の IoT サービスは、Cisco DNA Spaces 内のプラットフォームサービスであり、シスコのワイヤレスインフラストラクチャを使用して IoT デバイスを要求、管理、および監視できます。IoT サービスは、複数のベンダー、フォームファクタ、テクノロジープロトコルにまたがって IoT デバイスを管理できるように設計されています。Bluetooth Low Energy (BLE) は、IoT サービスを使用した管理に利用できる業界初の技術です。IoT サービスの詳細については、『[Cisco DNA Spaces IoT Services Configuration Guide](#)』を参照してください。

パートナーアプリ

Cisco DNA Spaces では、サードパーティのアプリを Cisco DNA Spaces に統合できます。サードパーティアプリは、Cisco DNA Spaces ダッシュボードにパートナーシップアプリとして表示されます。

IoT Device Marketplace アプリケーション

Cisco DNA Spaces ダッシュボードで、新しいアプリ IOT Device Marketplace を利用できるようになりました。このアプリは、ACT ライセンスユーザーのみが利用できます。SEE および EXTEND アカウントの場合、[IOT Device Marketplace] タイルは無効モードで表示されます。

IOT Device Marketplace アプリを使用すると、業界やユースケースに合致したデバイスを調べて、注文することができます。

Cisco DNA Spaces ダッシュボードで [IoT Device Marketplace] タイルをクリックすると、IoT Device Marketplace <https://dnaspaces.io/devicemarketplace/home> アプリケーションに自動的にリダイレクトされます。この機能強化が行われる前は、IoT Device Marketplace アプリケーションにログインするにはログイン情報を再度入力する必要がありました。

ログイン後は、業界とユースケースを選択し、選択したユースケースで利用可能な IoT デバイスを表示できます。その後、デバイスの詳細を表示し、見積をリクエストできます。見積リクエストが送信されると、お客様の連絡先とともに対応するベンダーにリダイレクトされ、その後の購入手続きは、お客様とベンダーの間で直接行われ、Cisco DNA Spaces は関与しません。

ロケーション階層

ロケーション階層機能を使用して、Cisco DNA Spaces でビジネスロケーションを定義できます。ワイヤレスネットワークでロケーションが定義されている構造と同じ構造でロケーションをインポートできます。エンゲージメント、キャプティブポータル、ロケーションパーソナルルールなどのアプリは、定義されたロケーション階層によって異なります。Cisco DNA Spaces はユニバーサルアカウントを提供しており、複数のワイヤレスネットワークのロケーションをロケーション階層に追加できます。

ロケーション階層に追加できる AP は、保有する Cisco DNA Spaces ライセンスのタイプによって異なります。

詳細については、「Cisco DNA Spaces のロケーション階層」セクションを参照してください。

モニター

[Monitor] セクションでは、Cisco DNA Spaces とそのアプリのパフォーマンスステータスを監視できます。また、アプリの遅延と異常も表示されます。詳細については、「モニタリング」のセクションを参照してください。

管理者管理

[Admin Management] 機能を使用すると、Cisco DNA Spaces ユーザーを作成できます。各ユーザーの権限をロールに基づいて制限できます。詳細については、「Cisco DNA Spaces のユーザーとアカウントの管理」のセクションを参照してください。

設定

ワイヤレスネットワークとカメラ

ワイヤレス ネットワーク

さまざまな方法で Cisco DNA Spaces を特定のワイヤレスネットワークに接続するための機能と手順を表示します。詳細については、「さまざまなワイヤレスネットワークで動作する Cisco DNA Spaces の設定」を参照してください。

Camera

Cisco DNA Spaces で動作するように Cisco Meraki カメラを設定するための機能と手順を表示します。

マップサービス

CMX テザリングのロケーションのマップをアップロードできるようにします。

ワイヤレス ネットワーク ステータス

ワイヤレス ネットワーク ステータス オプションを使用すると、ワイヤレスネットワークの同期ステータスを表示できます。最後の同期が実行された時刻を表示できます。

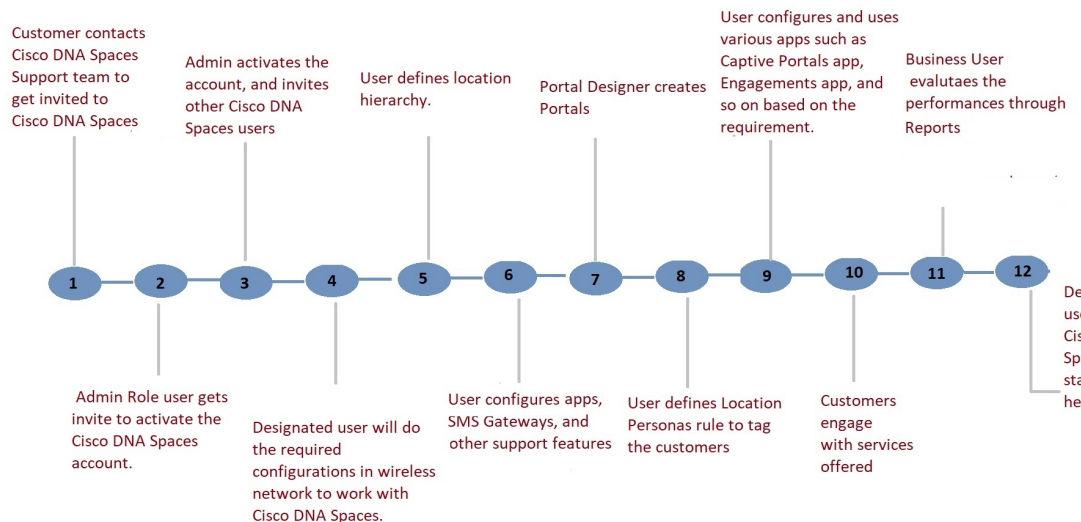
Cisco DNA Spaces ライセンスパッケージ

Cisco DNA Spaces は、**See**（基本）、**Act**（高度）、**Extend** という 3 種類のライセンスパッケージで利用できます。アカウントで使用できる機能は、所有する Cisco DNA Spaces ライセンスパッケージのタイプによって異なります。[Cisco DNA Spaces] ダッシュボードでは、利用可能なライセンスタイプに基づいてアプリが表示されます。

Cisco DNA Spaces のプロセスフロー

Cisco DNA Spaces のプロセスフローを次の図に示します。

図 2: Cisco DNA Spaces のプロセスフロー



Cisco DNA Spaces のシングルサインオン

Cisco DNA Spaces ではシングルサインオン（SSO）がサポートされているため、ユーザーは SSO 資格情報を使用して Cisco DNA Spaces にログインできます。たとえば、シスコのドメインで SSO が有効になっている場合、Cisco DNA Spaces アカウントを持つシスコの従業員は、シスコの電子メールアドレスとパスワードを使用して Cisco DNA Spaces にアクセスできます。さらに、シスコの従業員が他のシスコの Web サイトまたはアプリケーションを介してシスコ

ドメインにすでにログインしている場合、そのシスコの従業員は、シスコの電子メールアドレスを指定するだけで Cisco DNA Spaces にアクセスできます。

[Login] ボタンをクリックすると、[e-mail ID] フィールドのみが [Login] ウィンドウに表示され、あわせて [Continue] ボタンが表示されます。ユーザーがすでに SSO が有効なドメインにログインしている場合、[Continue] ボタンをクリックすると直接 Cisco DNA Spaces ダッシュボードに移動します。Cisco DNA Spaces アカウントが複数の顧客名をサポートしている場合は、[Select Customer] ウィンドウが表示されます。ユーザーがドメインにログインしていない場合、ログイン認証のために IDP ページにリダイレクトされ、SSO 資格情報を指定してログインできません。

Cisco DNA Spaces アカウントで SSO を有効にするには、Cisco DNA Spaces サポートチームに次の情報を提供する必要があります。

- アカウント名
- SSO を有効にする必要があるドメイン名
- Application Name
- SSO のタイプ：現在、SAML のみがサポートされています。
- 認証のみが必要か、または認証と承認の両方を有効にする必要があるか。これは、`authenticateOnly` フラグを `True` または `False` に設定することで指定します。
 - `True`：ユーザーに対して認証のみが有効になります。
 - `False`：ユーザーに対して認証と承認の両方が有効になります。



注 `authenticateOnly` を `False` に設定することを選択した場合、ユーザーの詳細を送信するときに IDP から追加情報を渡す必要があります。たとえば、`role=dnspaces:174923535949:Dashboard_Admin` などです。

- `metadata.xml` ファイルからの次の情報：
 - SSO の詳細
 - エンティティ
 - エントリポイント

上記の詳細を提供すると、Cisco DNA Spaces サポートチームから次の情報が送信され、アプリケーションを設定できるようになります。

- Entity ID
- 応答 URL (Assertion Consumer Service の URL とも呼ばれます)

- 次の情報を含むシスコのメタデータファイル：
 - 米国または EU の Cisco DNA Spaces IDP のメタデータ（アプリケーションの場所に応じて）
 - ID : <https://dnaspaces.io>
 - サインオン URL : <https://dnaspaces.io/api/tm/v1/account/login>
 - サインアウト URL : <https://dnaspaces.io/api/tm/v1/account/login>
 - IDP から Cisco DNA Spaces へのコールバック URL : <https://dnaspaces.io/api/tm/v1/account/login/callback>

IDP メタデータは、次のように [firstName]、[lastName]、および [email] フィールドを返すように設定する必要があります。

```
nameid-format:emailAddress", "firstName": "Jane", "lastName": "Doe", "phone": "9876543210", "level": "info", "
```

Cisco DNA Spaces の使用を開始する

Cisco DNA Spaces の使用を開始する前に、「Cisco DNA Spaces の前提条件」セクションに記載されている前提条件を満たしていることを確認してください。



- (注) 最初に、Cisco DNA Spaces サポートチームに連絡して、Cisco DNA Spaces アカウントを作成する必要があります。電子メールで Cisco DNA Spaces アカウントをアクティブにするための招待状を受け取ります。[Accept Activate] ボタンをクリックし、表示されるウィンドウでログイン情報を構成し、[Activate Account] をクリックします。これで、Cisco DNA Spaces にログインしました。ダッシュボード管理者であれば、他の Cisco DNA Spaces ユーザーを招待できます。

Cisco DNA Spaces の使用を開始するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 Cisco DNA Spaces にログインします。

- (注) Cisco DNA Spaces のシングルサインオンを有効にすることができます。詳細については、[Cisco DNA Spaces のシングルサインオン \(9 ページ\)](#) を参照してください。

ステップ 2 ワイヤレスネットワークに接続し、Cisco DNA Spaces ダッシュボードの [Setup] セクションの手順を参照して、Cisco DNA Spaces のワイヤレスネットワークを設定します。

セットアップ手順は、このガイドの次のセクションでも説明しています。

- Meraki : Cisco Meraki ネットワークの設定については、「Cisco DNA Spaces を使用するための Cisco Meraki の設定」を参照してください。

- Cisco CMX を使用した Cisco Unified Wireless Network : Cisco CMX を介して Cisco DNA Spaces を Cisco AireOS コントローラに接続するには、「[Cisco CMX を介して Cisco DNA Spaces をシスコワイヤレスコントローラに接続する](#)」の項を参照してください。
- Cisco AireOS ワイヤレスコントローラまたは Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ (Cisco CMX なし)。

(注) シスコワイヤレスコントローラの直接接続方式による接続は、小規模な展開でのみ推奨されます。大規模な実稼働展開には、すべて Cisco DNA Spaces コネクタが必要です。

- Cisco Wireless Controller Direct Connect 使用 : Wireless Controller Direct Connect を使用して Cisco DNA Spaces とシスコワイヤレスコントローラの接続を設定するには、[WLC 直接接続または Cisco DNA Spaces コネクタを使用した、Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラまたはシスコワイヤレスコントローラの Cisco DNA Spaces への接続](#)の項を参照してください。
- Cisco DNA Spaces コネクタの使用 : Cisco DNA Spaces コネクタを使用して、Cisco DNA Spaces と Cisco AireOS ワイヤレスコントローラまたは Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラの接続を設定する方法については、[Cisco DNA Spaces コネクタを使用した、Cisco DNA Spaces の Cisco AireOS ワイヤレスコントローラまたは Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラへの接続](#)を参照してください。
- Cisco Embedded Wireless Controller の使用 : Cisco Embedded Wireless Controller を使用した Cisco Unified Wireless Network の設定については、「[Cisco DNA Spaces と連携するための Cisco Embedded Wireless Controller の設定](#)」の項を参照してください。

(注) Cisco DNA Spaces ではユニバーサルアカウントが提供されるため、Cisco DNA Spaces を複数のワイヤレスネットワークに接続できます。

ステップ 3 チームメンバーを追加し、ロールと権限を割り当てます。Cisco DNA Spaces ユーザーの追加の詳細については、「[Cisco DNA Spaces のユーザーとアカウントの管理](#)」を参照してください。

ステップ 4 ワイヤレスネットワークで定義されているロケーション階層を Cisco DNA Spaces にインポートします。ロケーション階層の設定の詳細については、「[Cisco DNA Spaces のロケーション階層](#)」のセクションを参照してください。

次の手順はオプションであり、使用するアプリと実行するアクティビティによって異なります。

ステップ 5 Captive Portals アプリを使用するには、SSID を Cisco DNA Spaces にインポートします。SSID のインポートの詳細については、「[SSID](#)」の項を参照してください。

ステップ 6 顧客にタグを付けるためのロケーションパーソナルルールを定義します。ロケーションパーソナルルールの作成の詳細については、「[ロケーションパーソナルアプリを使用したタグの作成または変更](#)」の項を参照してください。

ステップ 7 SMS ゲートウェイなど、サポートしている機能を設定します。設定方法については、このガイドの該当するトピックを参照してください。

ステップ 8 必要に応じて、キャプティブポータルを作成します。キャプティブポータルの作成の詳細については、「[ポータルの作成と管理](#)」を参照してください。

- ステップ 9** 必要に応じて、キャプティブポータルルールを作成して、さまざまな顧客に適切なキャプティブポータルを表示します。キャプティブポータルルール作成の詳細については、「キャプティブポータルルール」のセクションを参照してください。
- ステップ 10** 必要に応じて、エンゲージメントルールを作成して、適切な通知を顧客に送信します。エンゲージメントルールの作成の詳細については、「エンゲージメントルールの作成」のセクションを参照してください。
- ステップ 11** Behavior Metrics、Location Analytics、Impact Analysis などのアプリを使用して、Cisco DNA Spaces のパフォーマンスおよびビジネスパフォーマンスを分析します。これらのアプリの詳細については、それぞれのセクションを参照してください。
- ステップ 12** [Monitor] セクションを使用して、Cisco DNA Spaces ドメインとアプリを監視します。

Profile Information

Cisco DNA Spaces は、Cisco DNA Spaces ダッシュボードユーザーの名、姓、携帯電話番号などのプロフィール情報の追加をサポートしています。

- [Account Preferences] ウィンドウの [My Profile] タブを使用して、プロフィール情報を追加できます。このウィンドウでは、名、姓、および携帯電話番号を指定できます。携帯電話番号とその確認はオプションです。携帯電話番号を指定すると、[Verify Mobile Number] リンクが表示され、ワンタイムパスワードを使用して携帯電話番号を確認できます。携帯電話番号が確認されると、[Verified] ステータスが表示されます。携帯電話番号を変更すると、[Verify Mobile Number] リンクが再び表示されます。
- Cisco DNA Spaces のログインワークフローでは、特定の Cisco DNA Spaces ユーザーのプロファイル情報が存在しない場合、ログインプロセスの一環として [Update Profile Information] ダイアログボックスが表示されます。このステップをスキップして、ログインに進むことができます。その後、いつでも [Account Preferences] ウィンドウからプロフィールの詳細を追加できます。ただし、時間情報が提供されるまで、[Profile Information] ダイアログボックスがログインワークフローの一部として表示されます。

(注) SSO ユーザーは、プロフィール情報を編集したり、携帯電話番号を確認したりすることはできません。また、ログイン時に SSO ユーザーに [Update Profile Information] ダイアログボックスは表示されません。

有効期限後のパスワード変更のサポート

Cisco DNA Spaces では、パスワードの有効期限が切れた後でもパスワードを変更できます。ログイン情報を入力して [Continue] ボタンをクリックすると、パスワードを変更するためのポップアップウィンドウが表示され。

Cisco DNA Spaces のナビゲーション

Cisco DNA Spaces ダッシュボードにログインすると、Cisco DNA Spaces アプリが Cisco DNA Spaces ホームページに表示されます。アプリは、利用可能なライセンスタイプの下に表示されます。ダッシュボードの左上に表示される 3 本線のメニューアイコンを使用して、[Location

Hierarchy]、[Monitor]、[Admin Management]、[Setup] といった Cisco DNA Spaces の他の機能にもアクセスできます。ダッシュボードの左上に表示される [Cisco DNA Spaces] をクリックするか、3 本線メニューの [Home] オプションを使用して、ホームページに移動できます。

ダッシュボードの右上に表示されるアプリランチャ（グリッド）アイコンを使用すると、あるアプリから別のアプリに簡単に移動できます。アプリランチャアイコンをクリックすると、ユーザーに対してアクティブ化されたすべての Cisco DNA Spaces アプリが一覧表示されます。ダッシュボードの左上に表示される [Cisco DNA Spaces] をクリックして、アプリからホームページに移動できます。

Cisco DNA Spaces のアイドルタイムアウト

Cisco DNA Spaces ダッシュボードにログインしているユーザーは、特定の期間だけアイドル状態を維持できます。20 分間非アクティブな場合、そのユーザーはダッシュボードから自動的にログアウトされます。アイドルタイムアウトの 5 分前に通知が表示され、Cisco DNA Spaces アプリケーションが開いているブラウザウィンドウのタイトルが INACTIVE: You will be logged out in 5 mins に変わります。対応するウィンドウで実行されたアクションは、ユーザーのセッションを拡張します。

Cisco Smart License

Cisco Smart License は、ソフトウェアのアクティブ化と管理の方法を合理化する柔軟なライセンスモデルです。このソリューションを使用すると、ライセンスのステータスとソフトウェアの使用傾向を簡単に追跡できます。

Cisco DNA Spaces でスマートライセンスをサポートすると、Cisco スマートアカウントの Cisco DNA Spaces ソフトウェアライセンスを表示および管理できます。Cisco DNA Spaces で Cisco Smart License を有効にするには、Cisco Smart Software Manager (CSSM) を使用して設定されたスマートアカウントが必要です。Cisco DNA Spaces ダッシュボードで、[Profile Icon] > [Activate Smart License] を選択して、Cisco Smart License をアクティブ化します。

[My Accounts] > [License Information] タブから Cisco Smart License をアクティブ化することもできます。



- (注) Cisco DNA Spaces でスマートライセンスを有効にするには、シスコで設定されたスマートアカウントが必要です。Cisco Smart License の詳細については、『[Smart Software Licensing](#)』を参照してください。

スマートライセンスのアクティブ化

ステップ 1 Cisco DNA Spaces ダッシュボードで、[Profile Icon] > [Activate Smart License] を選択します。

[Terms and Conditions] ウィンドウが表示されます。[Link Cisco Smart Account] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 利用規約を読み、[Accept Terms and Conditions] をクリックします。

[Smart License Configuration] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 Cisco Smart Software Manager (CSSM) ですでにアカウントを持っている場合は、[Yes, I have] オプションボタンをクリックします。

CSSM でアカウントを持っていない場合は、[No, I don't have] オプションボタンをクリックし、CSSM でアカウントを作成する手順を表示します。

ステップ 4 [Next] をクリックします。

ステップ 5 画面の指示に従って、CSSM ツールでトークンを作成します。

(注) 生成されたトークンをコピーして、手順 7 でそれを使用してください。

ステップ 6 トークンを生成したら、[Next] をクリックします。

ステップ 7 [Product Instance Token] フィールドに、生成したトークンを貼り付けます。

ステップ 8 [Register] をクリックして、Cisco DNA Spaces を CSSM アカウントに登録します。

成功通知メッセージが表示されます。[License Information] タブの下の [My Accounts] ウィンドウで、スマートライセンスソフトウェアの登録の詳細とライセンスのコンプライアンスに関する情報を表示できます。

(注) シスコスマートライセンスをアクティブ化した後、Cisco DNA Spaces サポートチームに連絡して、トライアルサポートを有効にすることができます。トライアルモードが有効になっている場合、スマートエージェントはライセンスの使用状況を Cisco Smart License Management に更新しません。

シスコスマートライセンスをアクティブ化した後、Cisco DNA Spaces ライセンスをアップグレードまたはダウングレードできます。これを行うには、[Profile] アイコン > [License Info] > [Select License Level] を選択します。詳細については、[ライセンス情報の更新 \(15 ページ\)](#) を参照してください。

ライセンス情報の更新

[My Accounts] ウィンドウの [License Information] タブを使用して、Cisco DNA Spaces のライセンスを管理します。使用可能なライセンスは、**Cisco DNA Spaces See**、**Cisco DNA Spaces Act**、**Cisco DNA Spaces Extend** です。

認証と登録の更新、Cisco DNA Spaces のスマートライセンスの再登録と登録解除を行うことができます。

ステップ 1 Cisco DNA Spaces ダッシュボードで、[Profile Icon] > [My Account] を選択します。

ステップ 2 [License Information] タブをクリックします。

[Your License] エリアには、Cisco DNA Spaces ライセンス、ライセンスがアクティブになるまでの日付、および有効期限までの残り日数が表示されます。

ステップ 3 ライセンスをアップグレードまたはダウングレードするには、[Select License Level] をクリックします。

[Select License Level] ウィンドウが表示されます。現在のプランは緑色のチェックマークで示されます。アップグレードまたはダウングレードの可能性は、[Select License Level] ウィンドウにも表示されます。

a) アップグレードまたはダウングレードするプランを選択します。

ライセンスのアップグレードまたはダウングレード情報を含む警告メッセージが表示されます。

b) [I accept the terms and conditions] チェック ボックスをオンにして続行します。

c) [Change Plan] をクリックします。

成功通知メッセージが表示されます。

d) 最新のライセンスの詳細を表示するには、[Login] をクリックして、Cisco DNA Spaces にログインします。

ステップ 4 [Smart License Status] エリアに、次の情報が表示されます。

図 3: スマートソフトウェアライセンス

SMART SOFTWARE LICENSE
To view and manage DNA Spaces software license for your Cisco Smart Account, go to Smart Software Manager

SMART LICENSE STATUS

Registration Status ✔ Registered
15-Nov-2021

License Compliance ✘ OutOfCompliance

ACCOUNT DETAILS

Smart Account Name InternalTestDemoAccount15.cisco.com
Virtual Account DNA-SPACES-CLOUD-1
Product Instance Name DNASpacesUS_15443

ACCESS POINT INFORMATION Last updated: 0 mins ago [Refresh](#)

Active APs
29

Smart License Usage

License (version)	Description	Count	Status	Expiry Date
Cisco DNA Spaces ACT Cloud (1.0)	Cisco DNA Spaces ACT Cloud	29	OutOfCompliance	13-Feb-2022

- [Registration Status] : Cisco DNA Spaces スマートライセンスの登録されたステータスを表示します。
- [License Compliance] : Cisco DNA Spaces のスマート ライセンス コンプライアンスの詳細を表示します。

ステップ 5 [Actions] ドロップダウンリストをクリックして、次のオプションを表示します。

- [Renew Authorization] : クリックすると、Cisco DNA Spaces のスマートライセンス認証が更新されます。

- (注)
 - Cisco DNA Spaces が CSSM と通信するときに認証の更新が自動的に実行されるため、このアクションはオプションです。または、スマートライセンスエージェントが、バックエンドから 30 日ごとに認証の更新を自動的に実行します。
 - ステータスが [Out of Compliance] の場合に、トラブルシューティングするか、認証を手動で更新する場合は、このアクションを実行することをお勧めします。また、認証を手動で更新して、最近のスマートアカウントの更新を反映して、Cisco DNA Spaces に反映することもできます。
- [Renew Registration] : クリックすると、Cisco DNA Spaces のスマートライセンス登録が更新されます。
 - (注)
 - 登録の更新は、登録時にバックエンドで Cisco DNA Spaces によって自動的に実行されるため、このアクションはオプションです。
 - このアクションにより、CSSM の登録 ID と証明書が更新されます。Cisco DNA Spaces は、バックエンドから 6 ヶ月ごとにこのアクションを自動的に実行します。
- [Re-register] : クリックすると、CSSM の Cisco DNA Spaces のスマートライセンスを再登録します。
 - (注)
 - このアクションにより、スマートライセンスが強制的に再登録され、既存の登録済みインスタンスが上書きされます。このアクションにより、スマートアカウントの特定のインスタンスのデータ損失が報告されます。
 - このアクションを実行して、スマートライセンスのトラブルシューティングを行うことをお勧めします。
- [De-register] : クリックすると、CSSM の Cisco DNA Spaces のスマートライセンスを登録解除します。
 - (注) Cisco DNA Spaces が使用されておらず、CSSM からインスタンスを登録解除する場合は、このアクションを実行することをお勧めします。

ステップ 6 [Account Details] エリアに、次の情報が表示されます。

- [Smart Account Name] : Cisco DNA Spaces のスマートライセンスアカウント名を表示します。
- [Virtual Account] : Cisco DNA Spaces のバーチャルアカウント名を表示します。
- [Product Instance Name] : Cisco DNA Spaces の製品インスタンス名を表示します。

ステップ 7 [Access Point Information] エリアには、次の情報が表示されます。

- [Active APs] : アクティブなアクセスポイントの数を表示します。

ステップ 8 [Smart License Usage] エリアに、次の情報が表示されます。

- [License] : ライセンスのバージョンを表示します。
- [Description] : ライセンスの説明を表示します。
- [Count] : アクティブなアクセスポイントの数を表示します。

- [Status] : ライセンスのステータスを表示します。
 - [Expiry Date] : スマートライセンスの有効期限日を表示します。
-

Cisco DNA Spaces ドキュメント

Cisco DNA Spaces ダッシュボードの右上に表示される [Cisco DNA Spaces Support] アイコンを使用して、コンフィギュレーションガイドやリリースノートを含む Cisco DNA Spaces のドキュメントにアクセスできます。

